保津町まちづくりプランKI･ZU･NA

保津町自治会

五十年後、百年後を見据えた「大家族宣言」のまちづくり

保津町自治会では、豊かな地域資源を活かしたまちの活性化を目指した地域ぐるみの議論を重ね、五十年後、百年後を見据えたまちづくりを進める「保津町まちづくりプランKI・ZU・NA」を策定し、住民同士が家族のように絆を深め、訪れる人を温かく迎える地域として、平成十九年十二月に「大家族のまち」を宣言されました。

このプランは、『共助の精神・地域の絆』など保津町の風土を再認識し新たにコミュニティビジネスの視点も取り入れて、「観光振興」「新産業の創出」「歴史文化の再認識」「安全・安心」などの視点から地域づくりを様々な主体との協働で進め「みんなの笑顔が見えるまちづくり」を目指すものです。

地域の文化遺産や伝承ゆかりの地点百六十箇所に案内看板を設置し地域の魅力を「保津百景」として後世に残す取組や、かつてのブランド産品「保津小麦」を活用した新商品開発など、子どもたちからお年寄りまであらゆる住民が主体的に参画したまちづくりが着々と進んでいます。

〈写真説明〉上段：「地域の宝物」案内看板の設置　中段上・下：角倉了以追悼供養
下段：ひまわり園

DATA

＜連絡先＞
TEL 0771-22-0810　FAX 0771-22-0810
e-mail
HPアドレス
＜代表者＞
古谷弘志（自治会長）
＜設立時期＞
昭和３０年４月１日
＜活動内容＞
保津小麦復活、フラワーロード整備、水車の復元、
「探せ、地域の宝物」事業、保津村ふるさとミュージアム、
盆踊りの復活、角倉了以追悼供養　など

▲ひすとりー

H13	地域の若手住民が主体となり「保津町まちづくりビジョン推進会議」を組織。将来を見越したまちづくりに向けての調査研究をスタート。保津小学校全児童をはじめ全世帯を対象としたアンケート調査などを実施。
H16. 3月	報告書作成。
H19. 9月	上記ビジョンに基づく「保津町まちづくりプランKI・ZU・NA（きずな）」を作成。京都府地域力再生プロジェクト事業を活用し、上記プランに基づく事業を計画的に実施。
H19. 12月	「大家族のまち」宣言を実施。
H20. 6.19	京都府の市町村・地域自治功労者（地域力再生功労者・団体の部）を受賞。

▲代表者いんたびゅー

○これまでの経過は？

平成十三年に若手を中心に保津町の今後百年の大計「まちづくりビジョン」を作ろうという動きが始まりました。過疎化、少子高齢化が進む中で、町外に出た人に町内に帰ってきてもらうにはどうしたらよいかという命題があったのです。アンケートなども実施し、平成十六年に報告書としてまとめましたが、ビジョン実現のためのしっかりした資金があるわけではなく、保津百景の立札の設置などできることは限られていました。ところが、平成十九年に府の地域力再生事業が始まったことで、これを利用して可能なものから実現していこうということになり、具体的な実施計画である「保津町まちづくりプランKI・ZU・NA（きずな）」を作成しました。現在はこれに基づき、事業を進めているところです。

亀岡市保津町自治会
会長
古谷弘志さん

○宣言された「大家族のまち」とは？

「大家族のまち」とは、住民同士が家族のように絆を深め、訪れる人を温かく迎える地域を目指そうというものです。保津町に住みたいなと思ってもらえるようなまちづくりを進めていこうと考えています。

保津町は昔から水害に見舞われやすい場所であり、困ったときには相互に助け合いを行ってきた歴史があります。お年寄りも子どもも一緒になって協力していくという精神が定着していると思います。

こうした地域に根付いた無形の宝物をこれからも変わらずに引き継いでいこうということを言葉にして示したものです。「大家族のまち」宣言は

ビジョンづくりや今回のまちづくり事業もそうした宝物があるからこそできているものと考えています。

▲保津町まちづくりプランKI・ZU・NAの事業概要

○保津小麦復活

かつて町内で栽培され、高品質の小麦として名が知られた「保津小麦」を栽培し、うどん、パンへの商品開発・研究を実施する。小学校全児童の麦踏み体験も実施。

○フラワーロード事業

保津橋から北谷川間歩道に百四十個のプランターを設置し、四季折々の花苗を植栽する。

○探せ、地域の宝物

保津百景など町内ゆかりの地の紹介看板を設置し、まちの歴史と文化を町民が共有し、家族はもとより複数世代のコミュニティ形成を目指す。地元の子ども達も参加して、地域の「大先輩」から、町の歴史などを教わりながら、地域ぐるみで設置。

○水車の復元

昔あった水車を復元し、動力を活用した農産品の開発や環境に配慮したまちづくりを目指す。

○盆踊りの復活事業

町内の世代を超えた交流事業である盆踊りを復活し、再活性化を目指す。

○角倉了以追悼供養

了以翁の命日に位牌が安置されている地元養源寺で開催。手づくり竹灯ろうに囲まれた幻想的な雰囲気の中で「ふるさと保津川」の歴史なども伝承。

○花いっぱい運動

小学校の児童が花の寄せ植えを町内の高齢者・独居老人に配布。子ども達と高齢者のコミュニケーション促進とともに高齢者の安全確認にも役立てる。

★広域振興局も協働しています！

南丹地域には、「共助の気風」や、豊かな自然文化や質の高い農産物など貴重な地域資源が存在し、「南丹地域振興計画」ではこれらを活かした「ほんものの豊かさを感じられる地域づくり」を目指しています。

南丹広域振興局では、地域の皆さんが主役となって地域資源を発掘し、育て、活用することで地域に一層の力をつけることが大切と考え、子ども達に共助の大切さなど防災について学んでもらい、子ども達を交えた地域活動を通じて災害に強い地域づくりを目指す「南丹セーフティキッズ認定事業」や保津川（桂川）が育んできた文化を継承・発信し、流域間の交流を促進する場づくりなどに取り組んでいます。